

菊池渓谷の水

菊池渓谷周辺の山々を源流とする無数の沢が、ここから上流にある地点で合流し、菊池川を形成している。渓谷の水は、標高の高い秘境にある川らしく、澄んでいて冷たい。特徴的なのは、火山性の鉱物をほとんど含まず、マグネシウムやカルシウムの含有量が少ないことだ。

菊池川は、阿蘇山カルデラの外輪山北西部の山頂に比較的近い、標高 800m 以上の高地で形成されている。川の源流はすべてカルデラの外側にあり、カルデラの底面よりかなり高い位置にあるため、川に流れる水は火山活動の影響を受けない。しかし、カルデラを形成する古代の火山岩の層によって、水はろ過される。このような地形と地質が、菊池渓谷の名水である清らかな軟水を生み出しているのである。

また、渓谷の低ミネラル水と火山岩の相互作用は、川の表情にも影響を与えている。岩盤が明るいところでは、水中の物質に邪魔されずに太陽光が岩盤を反射し、コバルトブルーに見えるのである。